

4 工業用水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、次の2事業を行っています。

事業名	給水開始	給水先
彦根工業用水道事業 給水能力 48,500 m ³ /日	昭和 46 年 5 月	彦根市、多賀町に立地する企業 14 社
南部工業用水道事業 給水能力 74,400 m ³ /日	昭和 43 年 5 月	守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、竜王町に立地する企業 43 社

○給水状況

①彦根工業用水道事業

平成 30 年度下半期の基本水量は、14 社合計 24,562 m³/日で、前年度同期に比べ 7,690 m³/日 (23.8%) 減少しました。

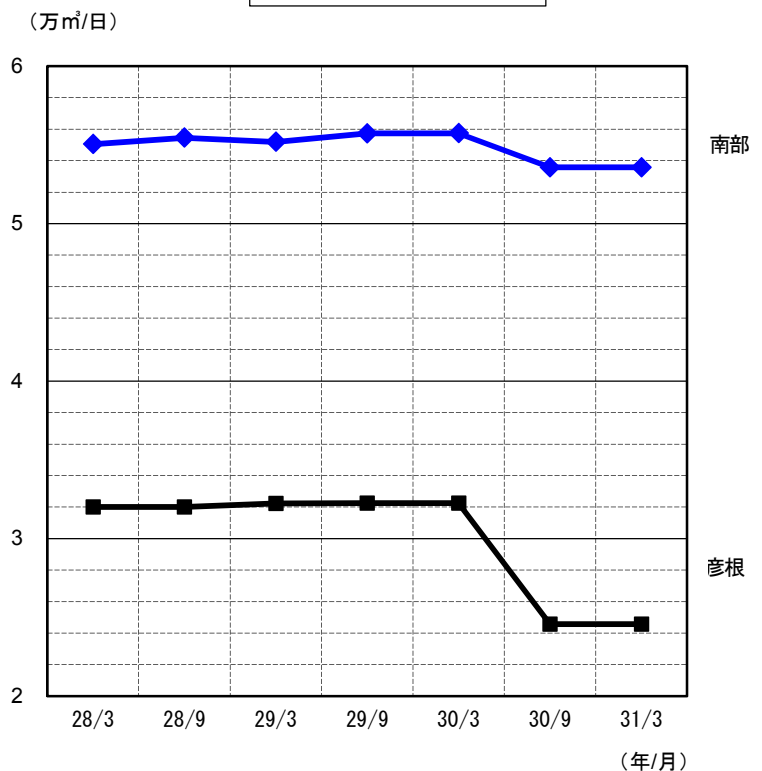
②南部工業用水道事業

平成 30 年度下半期の基本水量は、43 社合計 53,574 m³/日で、前年度同期に比べ 2,162 m³/日 (3.9%) 減少しました。

○建設改良事業の状況

平成30年度下半期は、彦根工業用水高区送水本管管路更新設計業務や吉川浄水場工水1系沈殿池緩速攪拌機更新工事等を上半期に引き続き実施しました。

近年の基本水量の状況



(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

平成 31 年 2 月定例会議において、事業収益については給水収益の増加等により 37,620 千円の増額補正を、事業費用については消費税の増額等により 18,362 千円の増額補正を行いました。また、補助金等の減少により資本金収入を 9,070 千円、工事費等の減少により資本金支出を 136,556 千円、それぞれ減額補正を行いました。

○平成30年度予算の執行状況

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
工業用水道事業収益	1,248,100	—	37,620	1,285,720	1,283,566	99.8
営 業 収 益	1,132,636	—	24,840	1,157,476	1,155,298	99.8
営 業 外 収 益	115,464	—	12,780	128,244	128,268	100.0
工業用水道事業費用	1,033,400	—	15,510	1,048,910	1,036,918	98.9
営 業 費 用	1,001,864	—	△ 6,612	995,252	986,079	99.1
営 業 外 費 用	31,536	—	22,122	53,658	50,839	94.7

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額 (A)	執 行 額 (B)	(B)/(A) %
資 本 的 収 入	130,700	—	△ 9,070	121,630	121,659	100.0
補 助 金	33,600	—	△ 6,200	27,400	27,428	100.1
諸 収 入	97,100	—	△ 2,870	94,230	94,231	100.0
資 本 的 支 出	513,700	—	△ 137,508	376,192	252,772	67.2
建 設 改 良 費	478,604	—	△ 126,602	352,002	228,584	64.9
企 業 債 償 還 金	34,201	—	△ 10,673	23,528	23,527	100.0
固 定 資 産 購 入 費	895	—	△ 233	662	661	99.8

(注) 1 補正予算額は、平成30年11月定例会議および平成31年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は、給水収益の減少等により、対前年度比3.2%減少の1,197,934千円となりました。一方、事業費用は、営業費用の減少等により、対前年度比5.2%減少の965,909千円となりました。この結果、純利益は、前年度より13,856千円増加し、232,025千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	平成 30 年度 決算額 (A)	平成 29年度 決算額 (B)	比 較 増 減		
			(A)－(B)	(A)/(B) %	
工業用水道事業収益	1,197,934	1,237,530	△	39,596	96.8
営業収益	1,069,721	1,101,659	△	31,938	97.1
営業外収益	128,213	135,871	△	7,658	94.4
工業用水道事業費用	965,909	1,019,361	△	53,452	94.8
営業費用	962,735	994,749	△	32,014	96.8
営業外費用	3,174	6,532	△	3,358	48.6
特別損失	—	18,080	△	18,080	皆減
当年度純利益	232,025	218,169		13,856	106.4

②財務状況

平成 30 年度末の総資産は、前年度より 204,192 千円 (1.5%) 増加して 14,105,460 千円、また、負債は 27,833 千円 (1.0%) 減少して 2,796,108 千円となり、資本は 232,025 千円 (2.1%) 増加して 11,309,352 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	平成 30 年度 決 算 額	平成 29 年度 決 算 額	比較増減	科 目	平成 30 年度 決 算 額	平成 29 年度 決 算 額	比較増減
固定資産	8,117,148	8,532,095	△ 414,947	固定負債	747,486	785,091	△ 37,605
流動資産	5,988,312	5,369,173	619,139	流動負債	318,555	226,635	91,920
				繰上収益	1,730,067	1,812,215	△ 82,148
				負債合計	2,796,108	2,823,941	△ 27,833
				資本金	8,902,768	8,866,095	36,673
				剰余金	2,406,584	2,211,232	195,352
				資本合計	11,309,352	11,077,327	232,025
合 計	14,105,460	13,901,268	204,192	合 計	14,105,460	13,901,268	204,192

③企業債の状況

平成 31 年 3 月 31 日現在の企業債の現在高は 192,608 千円です。

(3) 令和元年度の事業および予算の概要

工業用水の安定的な供給を通じて本県の工業振興に寄与するため、本年度は 57 事業所に 1 日平均 50,833 m³の工業用水を供給する予定としています。

彦根工業用水道事業については、彦根工水高区送水本管管路更新工事等を行うこととしています。

南部工業用水道事業については、朝国工水送水ポンプ吐出弁更新工事等を行うこととしています。

○令和元年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
工業用水道事業収益		1,197,800	226,867	970,933
	営 業 収 益	1,078,313	205,365	872,948
	営 業 外 収 益	119,487	21,502	97,985
工業用水道事業費用		1,063,700	186,293	877,407
	営 業 費 用	1,037,378	186,099	851,279
	営 業 外 費 用	26,322	194	26,128

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額	左 の 内 訳	
			彦 根	南 部
資 本 的 収 入		101,600	5,200	96,400
	補 助 金	6,000	4,700	1,300
	諸 収 入	95,600	500	95,100
資 本 的 支 出		433,100	146,939	286,161
	建 設 改 良 費	405,886	145,191	260,695
	企 業 債 償 還 金	19,797	—	19,797
	固 定 資 産 購 入 費	7,417	1,748	5,669

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。